

雪結晶を撮影して楽しんでみませんか

1 はじめに

青森は、雪が多く降ることでも有名ですが、雪の結晶を見たことはありますか？最近では、スマートフォンと100円均一の小売店で購入することができる「マクロレンズ」を使うことにより、誰でも簡単に雪の結晶を撮影することが出来ます。皆様も挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

2 準備するもの

撮影には、以下の3点を用意してください。

- ・防水スマートフォン（もしくは防水カメラ）
- ・マクロレンズ（100円均一の小売店で購入可能）
- ・黒や青の濃い色の生地（雪を見やすくする効果）

下の写真には「ものさし・硬貨」とありますが、撮影だけを楽しむ分には不要です。雪の結晶の大きさも調べてみたいのであれば、ものさしや硬貨を並べて比較してみましょう。



画像出典：気象研究所ホームページより

なお、撮影時は、スマートフォンやカメラ機材が濡れてしまいます。くれぐれも故障させないようにしてください。また、降りしきる雪の中での撮影になりますから、防寒対策もしっかりおこない、けっして無理をせず体調管理に注意して撮影してください。

3 いざ撮影に挑戦

筆者も撮影を楽しんでみました。撮影時に感じたコツは次のとおりです。

- ・日中の明るい時間がよい

スマートフォンのカメラの性能にもよるのかもしれませんが、光量の多い日がよさそうです。もし、夜間に撮影する際には、明るい外灯の下や懐中電灯などで照らす必要があります。

- ・ピント合わせは慣れが必要。そして設定を「連写」で撮影しましょう

ピント合わせは重要で、スマートフォンを上下に動かしてピントを合わせましょう。寒さによる手振れでピントが合っていないことも多々ありますので、カメラの設定は「連写」にしてとにかく枚数を多くとり、撮影後に室内で選別しましょう。

・ **うまく撮影できなくても、撮影チャンスは日々あります**

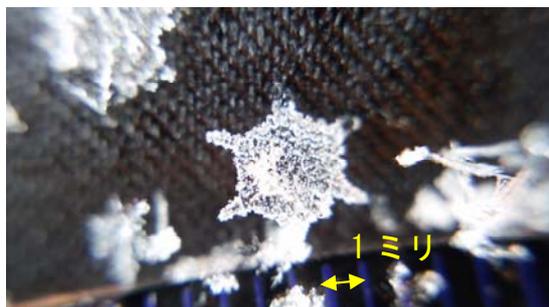
雪の降る日が多いので、失敗にめげずに何度でもチャレンジできます。

4 写真

何度もピント合わせに失敗しながら、挑戦してみました。撮影の腕が良くない筆者でも、連写撮影した画像から何枚かピントの合った雪結晶を撮影することができました。



2018年12月13日09時56分
撮影場所：青森地方气象台
雲粒付六花（うんりゅうつきろっか）



2018年12月13日10時01分
撮影場所：青森地方气象台
雲粒付枝付角板（うんりゅうつきえだつきかくばん）



2018年12月13日10時12分
撮影場所：青森地方气象台
樹枝六花（じゅしろうっか）

5 おわりに

関東甲信地方では、気象研究所の荒木健太郎研究官が「#関東雪結晶 プロジェクト」（平成30年度までの募集期間）を立ち上げ、「首都圏の降雪現象の実態解明」を目的に、関東甲信地方にお住まいの方々から雪結晶画像を募り、高精度に雨雪を判別する手法の確立や関東甲信地方の降雪現象の予測精度向上に向けた研究を盛んにおこなっています。

青森地方气象台では、このような取り組みはおこなっていませんが、ウイン

タースポーツのように雪を楽しむ目的の一つとして、今回話題として取り上げてみました。誰でも図鑑のように綺麗な雪結晶を撮影することができますので、皆さんも撮影にチャレンジして、いろんな結晶を探してみてもいいでしょうか。

雪の結晶撮影に興味をもたれた方は、雪結晶の絵本「ろっかのきせつ（ジャムハウス出版）」など様々な書籍もありますので、冬の夜長に読んでみるのもいいでしょうか。雪の基礎知識の解説もあり、もっと雪が好きになるのではないかと思います。

参考：

気象庁気象研究所 予報研究部第三研究室 荒木健太郎ホームページ

URL: <http://www.mri-jma.go.jp/Dep/fo/fo3/araki/snowcrystals.html>

ろっかのきせつ（ジャムハウス出版）

（この原稿の作成 観測予報管理G いしとり）



国土交通省 気象庁 青森地方气象台
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号
電話017-741-7411



気象庁ホームページ: <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
青森地方气象台ホームページ: <http://www.jma-net.go.jp/aomori/>